別表第五（第二条第二項第三号関係）

1．項目・記載内容

項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行 ※1	文字フォント	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ（ポイント）※2	指定都市実装区分	一般市区町村実装区分	適合基準日
1	就学援助費保留通知書、就学援助費保留通知書（平仮名表記）	送付先	学校コード（文科省指定）（指定都市の実装においては、自治体で任意に設定する自治体学校コードのいずれか）を記載	1	無	全角/半角	27	IPAmj明朝	―	左	―	12	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			申請番号（認定番号・否認定番号と共通する番号）を記載 就学世帯出力の際は申請者単位の付番、個人出力を前提とする場合は児童生徒ごとに付番で想定し、複数の付番は想定しない	1	無	全角/半角	10	IPAmj明朝	―	左	―	12	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			郵便番号（「999－9999」形式）を記載	1	無	全角	8	IPAmj明朝	―	左	―	12	実装必須機能	標準オプション機能	令和8年4月1日
			申請者の住所を記載	3	有	宛名住所型	17/3	IPAmj明朝	―	左	○	12	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			申請者名を記載 振り仮名（フリガナ）を出力しない	1	有	宛名氏名型	15	IPAmj明朝	―	左	○	12	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			カスタマバーコードを付す 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	―	―	バーコード	―	―	―	左	―	―	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
2		文書番号	文書番号を記載（自治体によって設定する想定）	1	無	全角/半角	22	IPAmj明朝	―	右	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
3		送付年月日	送付年月日を記載	1	無	日付型	17	IPAmj明朝	和暦	右	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
4		処分庁名（通知者名）	処分庁名を公印に重ならないよう記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	1	無	全角	10	IPAmj明朝	―	右	―	12	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			通知者名を公印欄に寄せ、公印に重ならないよう記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	1	無	全角	10	IPAmj明朝	―	右	―	12	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
5		公印	処分庁名（通知者名）の右横に重ならないように印字する	―	―	イメージ	―	―	―	―	―	―	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			公印を省略する場合は、処分庁名（通知者名）の後に「（公印省略）」を印字する	1	無	全角	6	IPAmj明朝	―	中央	―	8	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
6		通知書タイトル	（和暦）「元号＋〇〇年度」の形式で記載	1	無	全角	6	IPAmj明朝	―	中央	―	18	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
			「就学援助費保留通知書」と記載（マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする） 新入学用通知に差替え可能とする	1	無	全角	27	IPAmj明朝	―	中央	―	18	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
7		通知書本文	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする 新入学用通知に差替え可能とする	1	有	全角	40/4	IPAmj明朝	―	左	―	14	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
8		学校	表形式で学校名を記載 就学世帯ごとの出力に対応して複数名分表示可能とする	1	無	全角	15	IPAmj明朝	―	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
9		学年	表形式で「〇年生」と記載 就学世帯ごとの出力に対応して複数名分表示可能とする	1	無	全角	4	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
10		認定区分	表形式で、「要保護」「準要保護」のように記載し、文言の表現はマスター設定により、自治体ごとに変更可能とする 就学世帯ごとの出力に対応して複数名分表示可能とする 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	1	無	全角	5	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日